

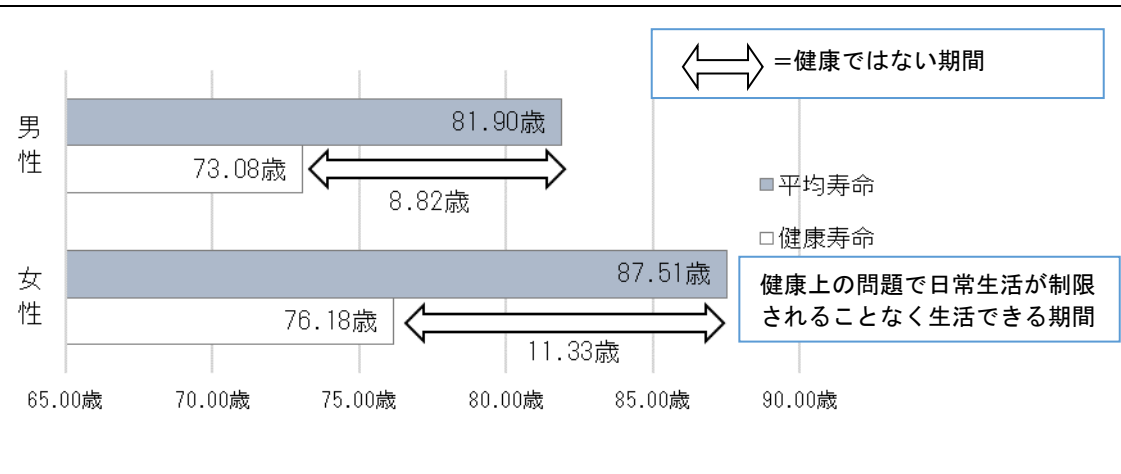
第2章 食を取り巻く現状

1 食を取り巻く社会情勢

(1) 平均寿命と健康寿命

令和元年(2019年)の健康寿命は男性 73.08 歳(全国 13 位)、女性 76.18 歳(全国 11 位)であり、いずれも全国平均を上回っています。平均寿命と健康寿命との差は日常生活に制限のある「健康ではない期間」を意味し、この差を縮小する必要があります。

図1 平均寿命と健康寿命(県)



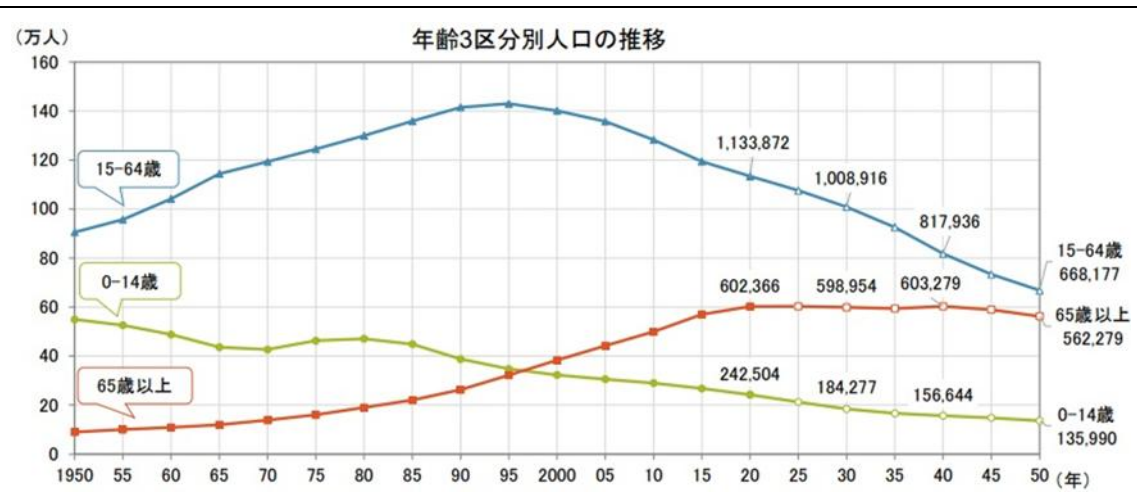
出典：平均寿命：厚生労働省「令和2年都道府県別生命表」

健康寿命：厚生労働省「健康日本21（第二次）推進専門委員会資料」

(2) 人口の推移と将来推計

令和2年(2020年)には65歳以上人口は602千人(30.4%)に上昇し、0～14歳人口は242千人(12.3%)に低下しています。

図2 年齢区分別人口の推移(県)

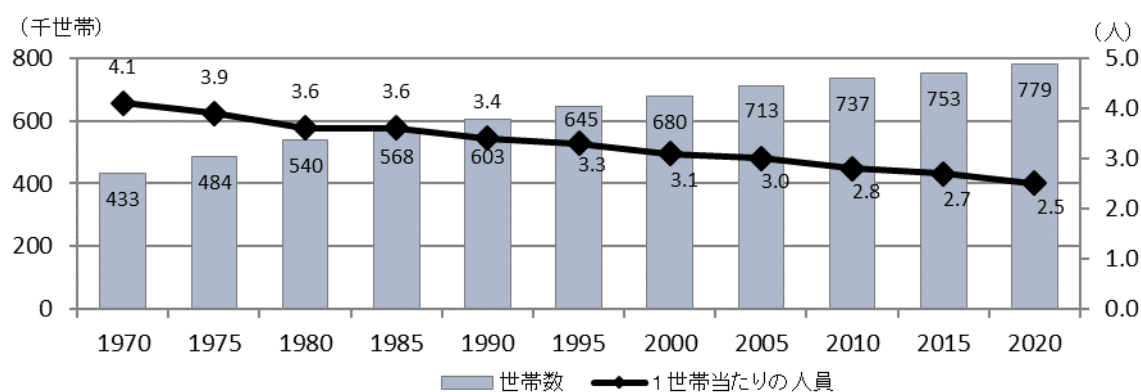


出典：総務省「国勢調査」

(3)家族形態の変化

令和2年(2020年)には一般世帯数は77万9,029世帯に増加し、過去最高となりました。反対に1世帯当たりの人員は2.5人に減少し、過去最低となりました。

図3 世帯数及び1世帯当たり人員(県)

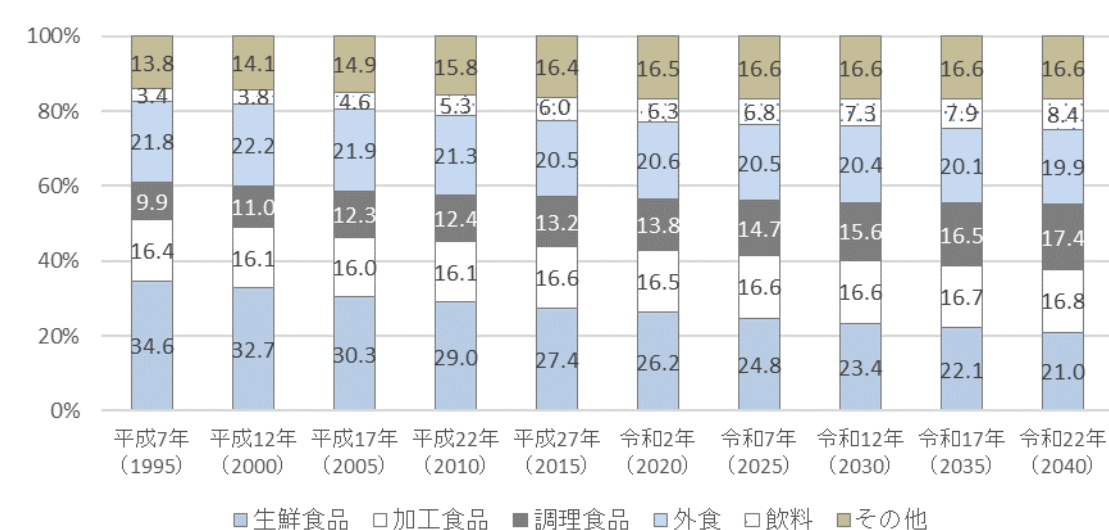


出典：総務省統計局「国勢調査」

参考 食の外部化

単独世帯や共働き世帯の増加に伴い、食の外部化・簡便化が一層進むと予想されています。総世帯における食料消費支出の内訳の変化を見ると、生鮮食品の支出割合が減少し、調理食品や加工食品への支出割合は増加する見込みです。

図4 品目別食料支出割合の将来推計(全国)



出典：農林水産政策研究所「我が国の食料消費の将来推計(2019年版)」を基に農林水産省作成

2 健康の状況

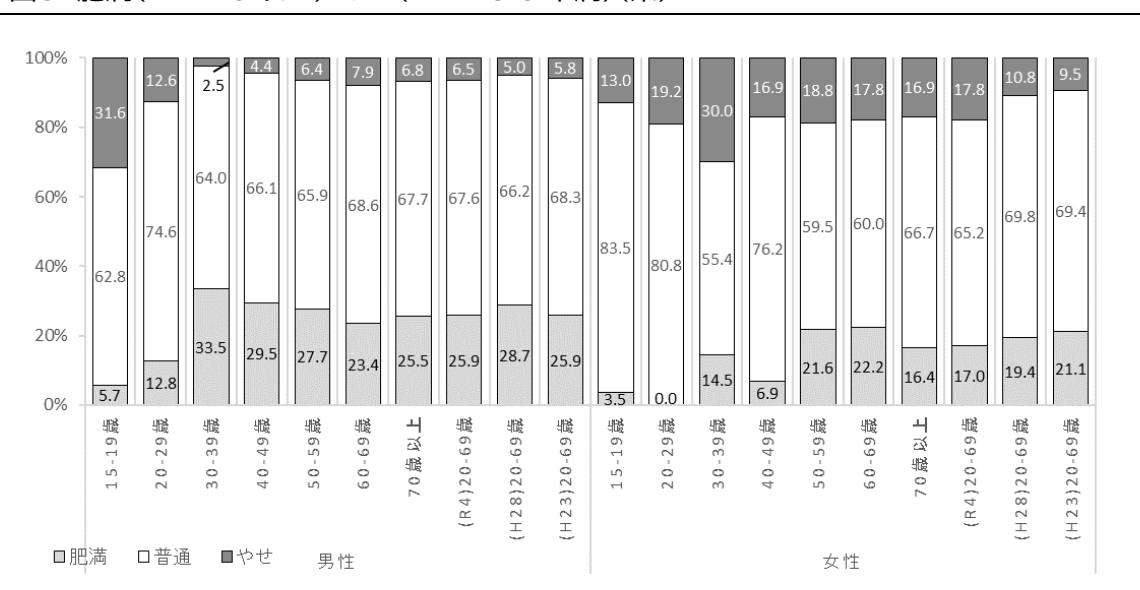
(1) 肥満ややせの状況

成人の肥満者割合は、20～60 歳代男性が 25.9%、20～60 歳代女性 17.0%と平成 28 年の前回調査から低下しています。

20 歳代の女性のやせの割合は 19.2%で、30 歳代の女性のやせの割合も 30.0%と高い状況です。

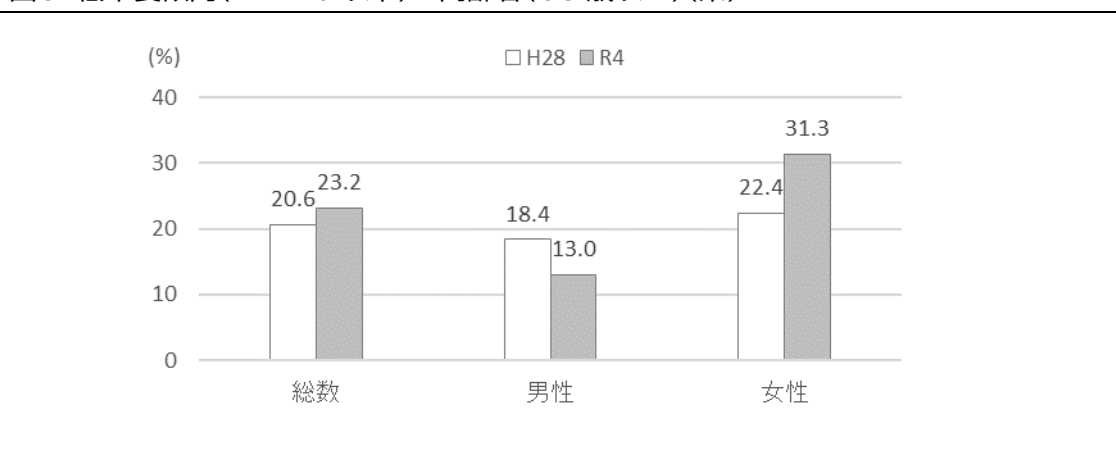
低栄養傾向の高齢者の割合は 23.2%で、前回調査から上昇しています。

図5 肥満(BMI25 以上)・やせ(BMI18.5 未満)(県)



出典：岐阜県保健医療課「令和 4（2022）年度県民栄養調査」

図6 低栄養傾向(BMI20 以下)の高齢者(65 歳以上)(県)

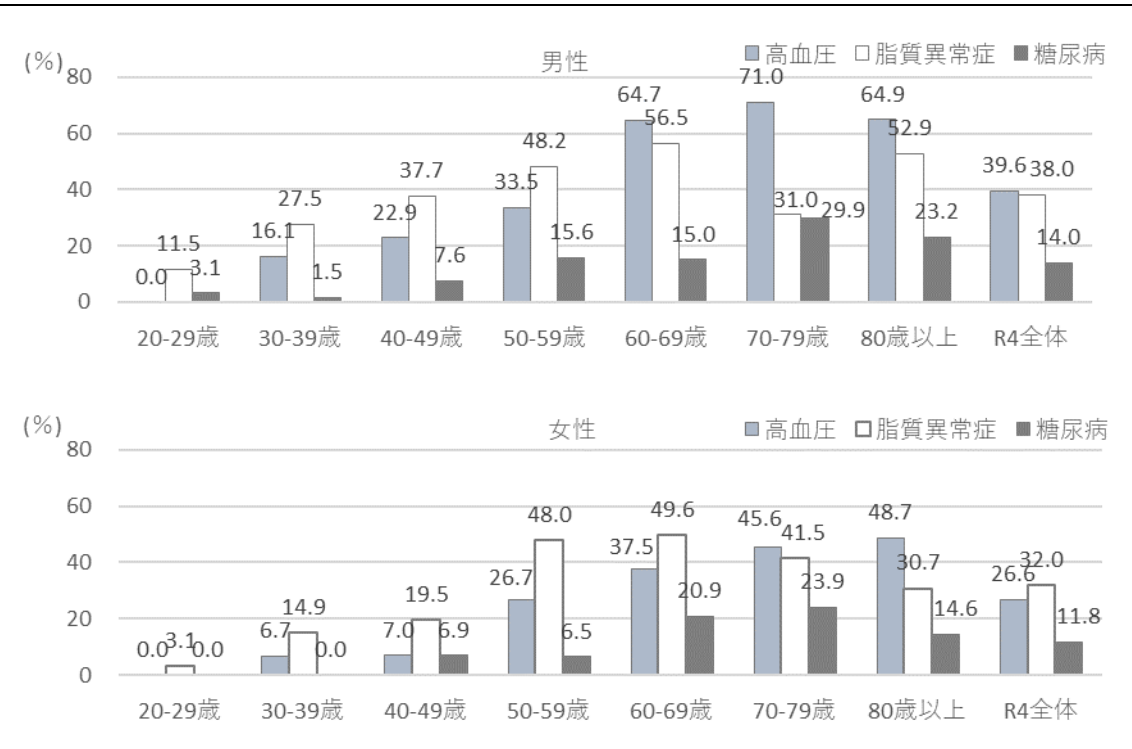


出典：岐阜県保健医療課「令和 4（2022）年度県民栄養調査」

(2)生活習慣病の状況

医療機関や健診で高血圧症と言われたことがある者の割合は、男性 39.6%、女性 26.6%であり、脂質異常症(血中コレステロールや中性脂肪が高い)と言われたことがある者の割合は男性 38.0%、女性 32.0%です。また、糖尿病と言われたことがある者の割合は男性 14.0%、女性 11.8%です。

図7 生活習慣病と言われたことがある者の状況(県)



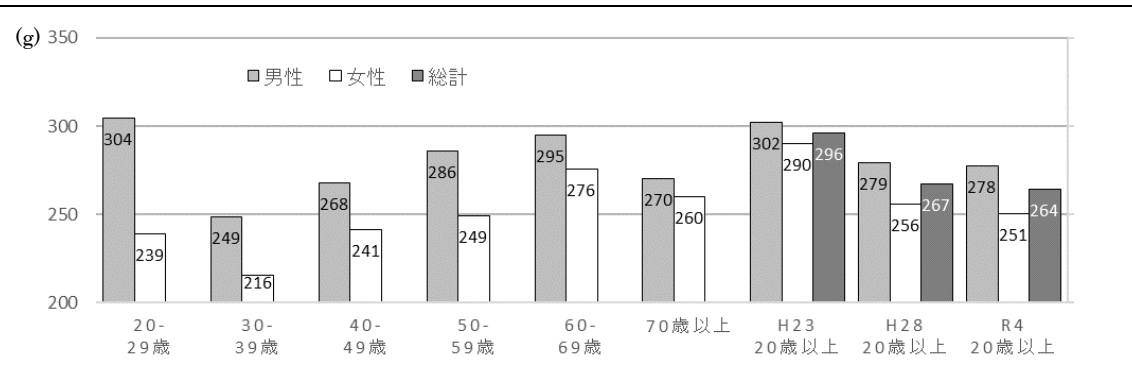
出典：岐阜県保健医療課「令和4（2022）年度県民栄養調査」

3 食物(栄養)摂取の状況

(1)野菜摂取量の状況

1人1日あたりの平均野菜摂取量は、男女合計 264g(20 歳以上)で横ばいにあります。特に 20 歳代女性、30 歳代で摂取量の不足が顕著です。

図8 野菜摂取量(20 歳以上)(県)

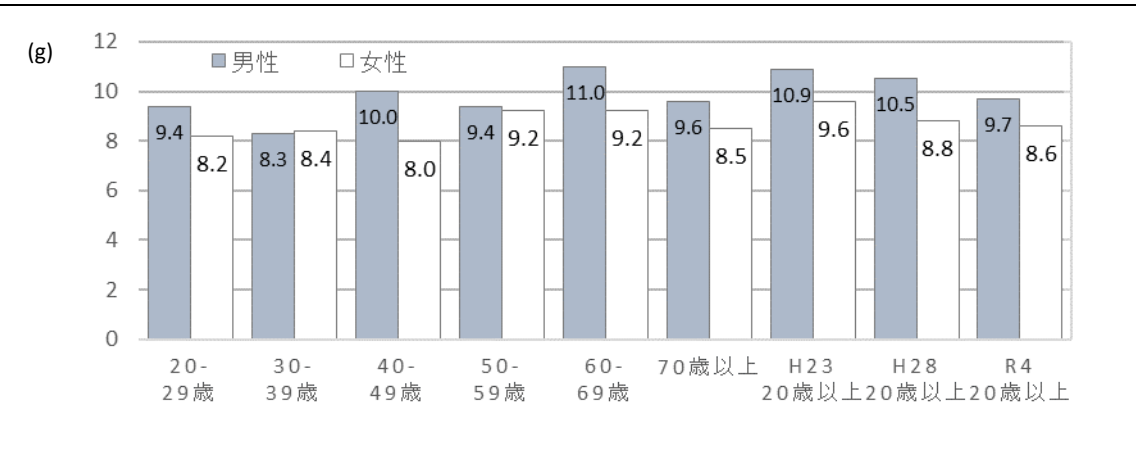


出典：岐阜県保健医療課「令和4（2022）年度県民栄養調査」

(2)食塩摂取量の状況

1人1日あたりの平均食塩摂取量は、男性 9.7g、女性 8.6g(20 歳以上)で、目標値である男性 7.5g未満、女性 6.5g未満には達していないものの、男女ともに減少しています。

図9 食塩摂取量(20 歳以上)(県)



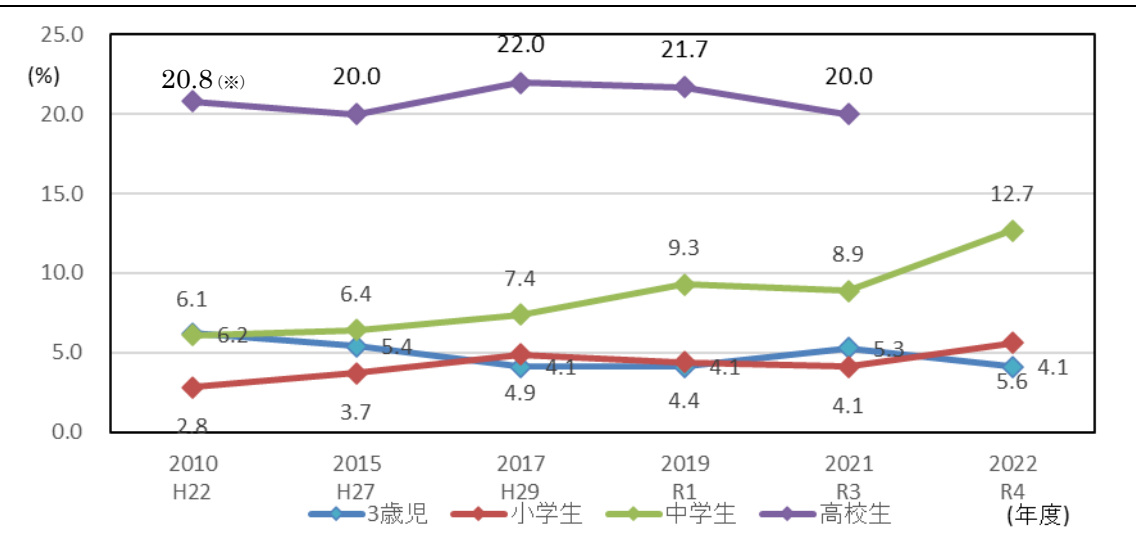
出典：岐阜県保健医療課「令和4（2022）年度県民栄養調査」

4 食生活の状況

(1)こどもの朝食欠食率

こども(3歳児、小・中学生)の朝食欠食率は低い状況ですが、高校生では約 20%と高止まりしています。

図10 こどもの朝食欠食率の推移(県)



出典：3 歳児：岐阜県保健医療課「3 歳児食生活実態調査」

小中学生：岐阜県教育委員会体育健康課「学校給食等実態調査」

※小中学生は、1 週間（平日）のうち朝食を1 日でも食べなかった児童生徒の割合

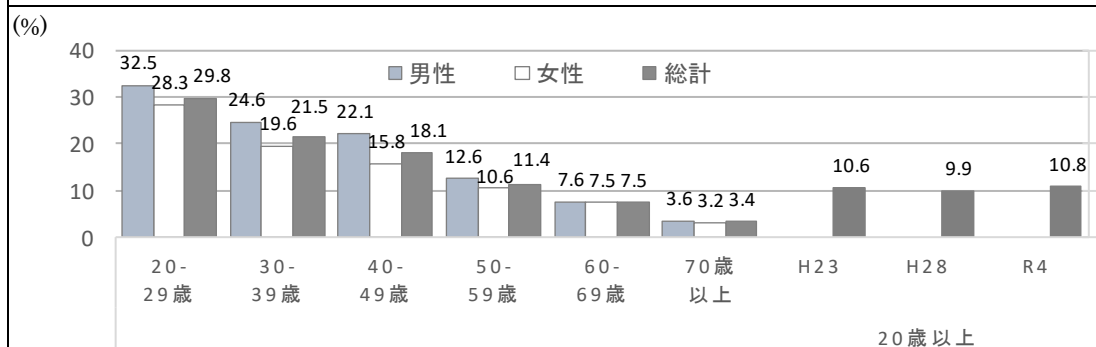
高校生：岐阜県保健医療課「高校生の食生活実態調査」

(※) 2011 年の調査結果

(2)朝食の欠食率

朝食欠食者の割合は、20 歳代、30 歳代の若い世代(こどもの保護者世代)が高く、20 歳代は 29.8%、30 歳代は 21.5%です。

図11 朝食欠食者の割合(県)

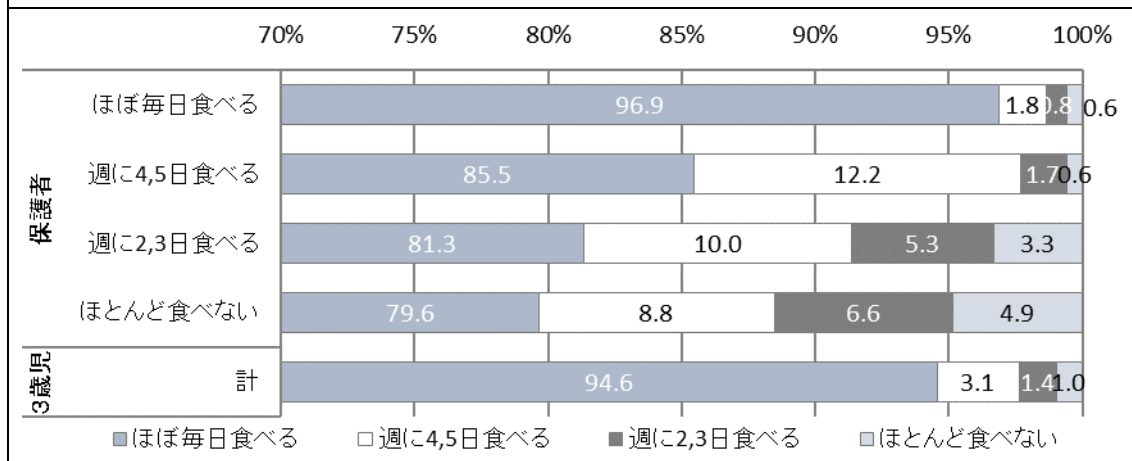


出典：岐阜県保健医療課「令和4（2022）年度県民意識調査」

(3)こどもとその保護者の朝食摂取状況

保護者が「ほぼ毎日朝食を食べる」場合にこども(3歳児)も「ほぼ毎日食べる割合」は、96.9%ですが、逆に保護者が「ほとんど食べない」場合には、こどもが「ほぼ毎日食べる割合」は約 8 割まで減少しています。

図12 こどもとその保護者の朝食摂取状況(県)

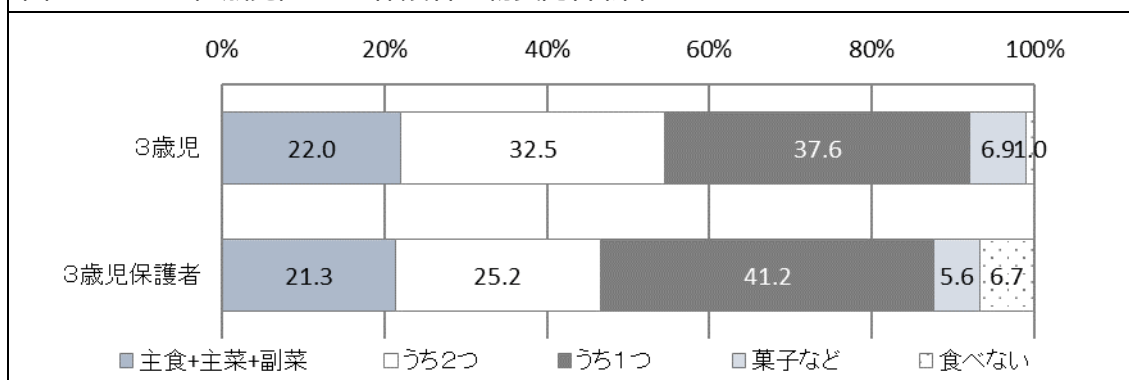


出典：3 歳児：岐阜県保健医療課「令和4（2022）年度3 歳児食生活実態調査」

(4)こどもの朝食内容

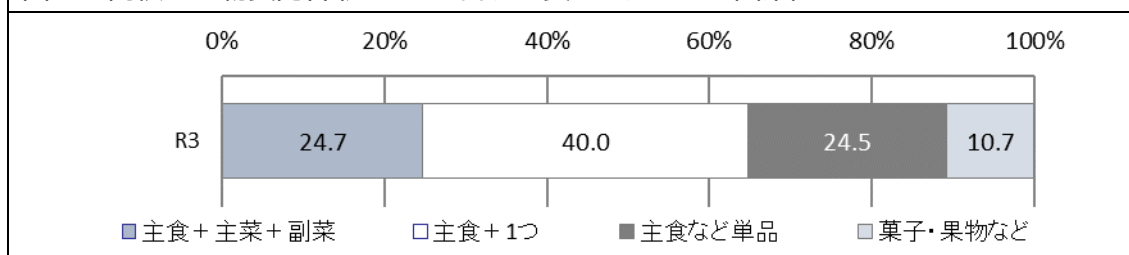
朝食に主食・主菜・副菜がそろった食事をとっている者の割合は、3歳児で 22.0%（保護者は 21.3%）、高校生は 24.7%です。

図13 こども(3歳児)とその保護者の朝食内容(県)



出典：岐阜県保健医療課「令和4（2022）年度3歳児食生活実態調査」

図14 高校生の朝食内容(週2～3日以上食べる人のうち)(県)

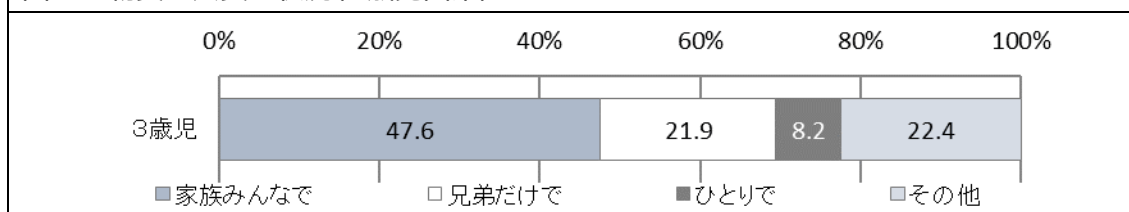


出典：岐阜県保健医療課「令和3（2021）年度高校生の食生活実態調査」

(5)こどもの共食の状況

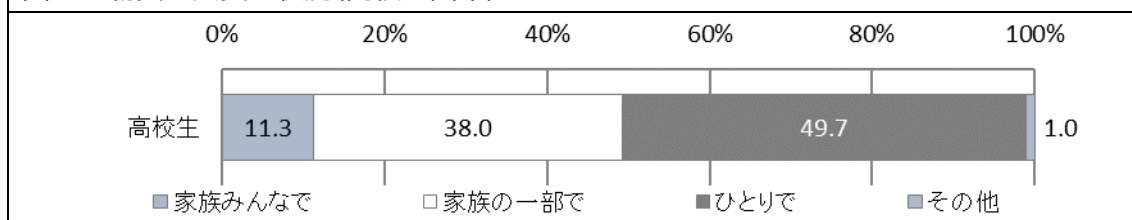
朝食を家族みんなで食べている者の割合は、3歳児で 47.6%、高校生で 11.3%です。

図15 朝食の共食の状況(3歳児)(県)



出典：岐阜県保健医療課「令和4（2022）年度3歳児食生活実態調査」

図16 朝食の共食の状況(高校生)(県)

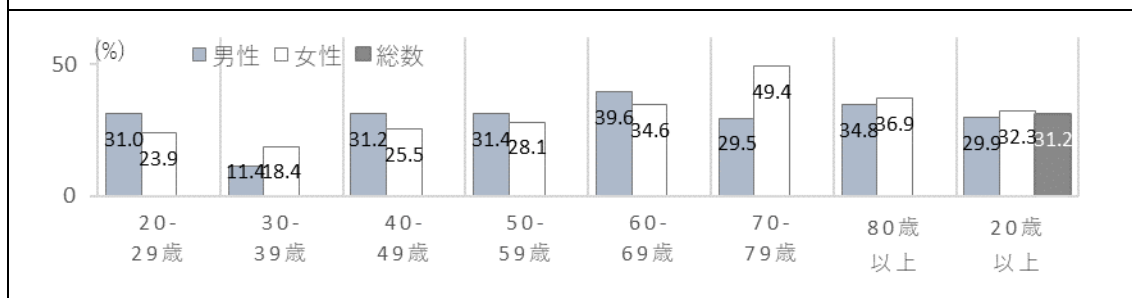


出典：岐阜県保健医療課「令和3（2021）高校生の食生活実態調査」

(6)地域等で共食している者

地域で共食している者は 31.2%です。友人など誰かと一緒に食事をする頻度が高いと食品の摂取が多く、健康的な食生活と関係しているといわれています。

図17 地域等で共食している者(県)

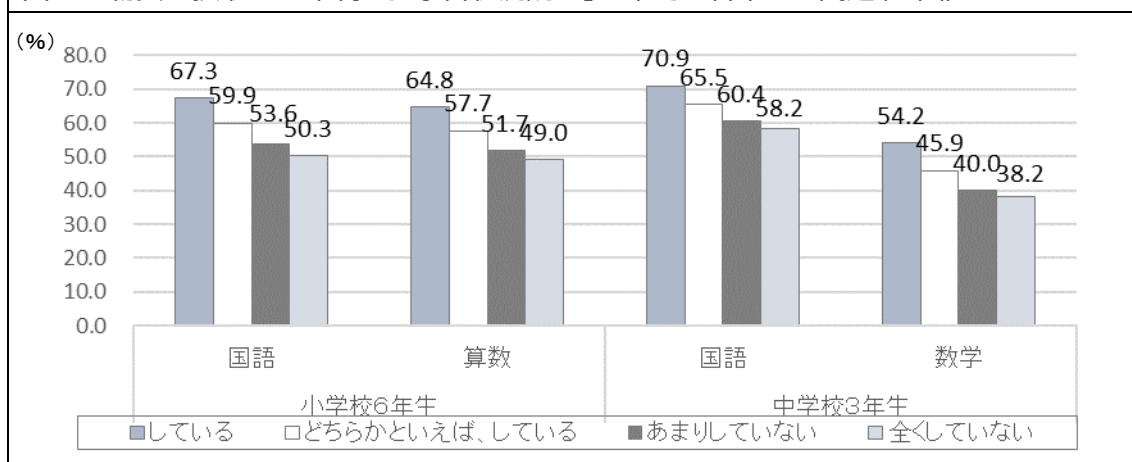


出典：岐阜県保健医療課「令和4（2022）年度県民栄養調査」

参考 朝食の摂取と平均正答率、体力合計点との関連

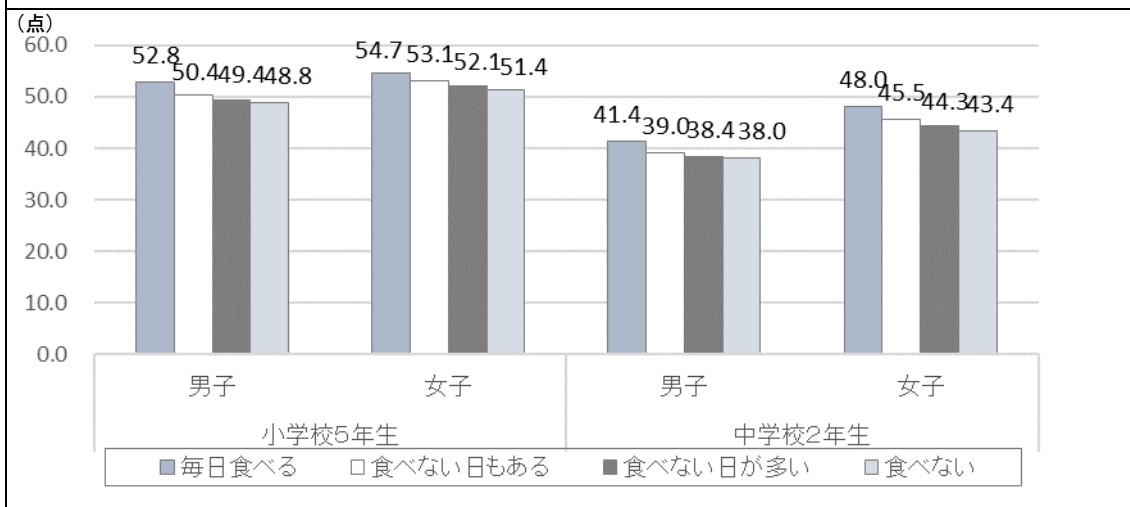
毎日朝食を食べることもほど各教科の平均正解率が高く、また、体力合計点が高い傾向です。

図18 朝食の摂取と「全国学力・学習状況調査」の平均正答率との関連(全国)



出典：文部科学省「令和4（2022）年度全国学力・学習状況調査」

図19 朝食の摂取と「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力合計点との関連(全国)



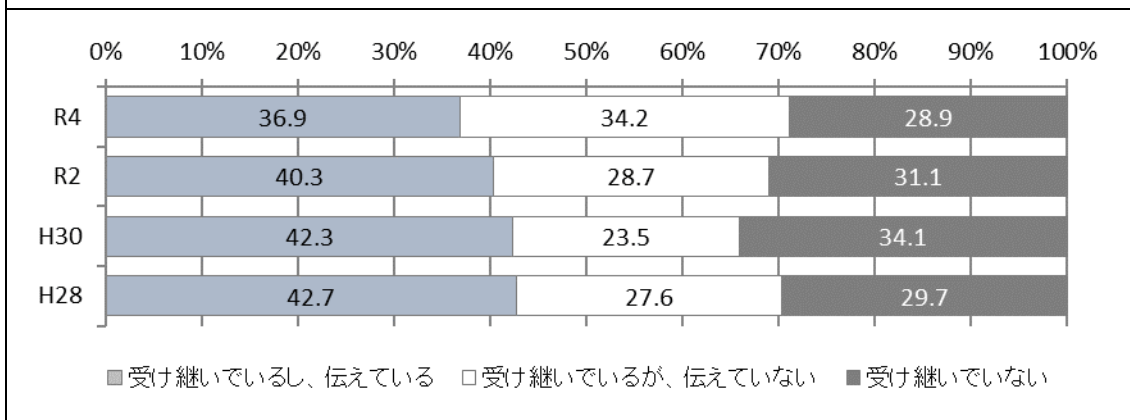
出典：スポーツ庁「令和4（2022）年度全国学力・運動能力、運動習慣等調査」

5 食文化・地産地消・食農教育

(1)食文化の継承

郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方、作法について「受け継いでいるし、伝えている」者の割合は、36.9%です。

図20 次世代への食の継承(県)

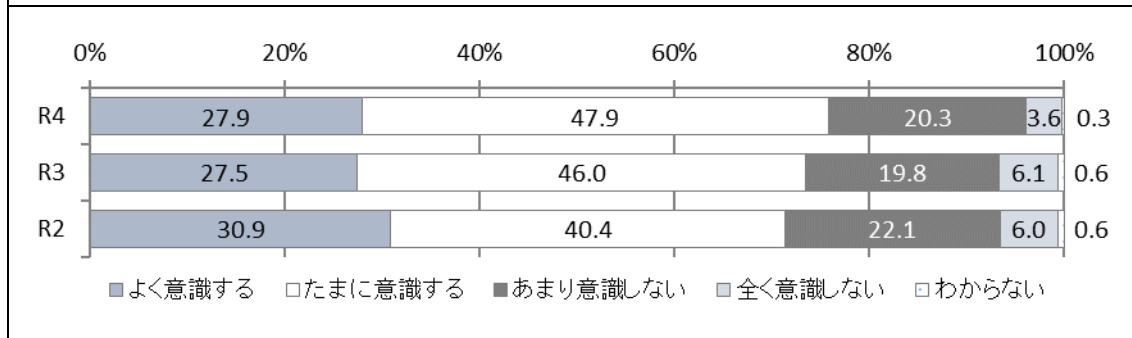


出典：岐阜県「県政モニター」

(2)地産地消を意識している

農産物を購入するとき岐阜県産のものを選ぶなど、「地産地消」を意識する者の割合は27.9%でした。

図21 地産地消について(県)

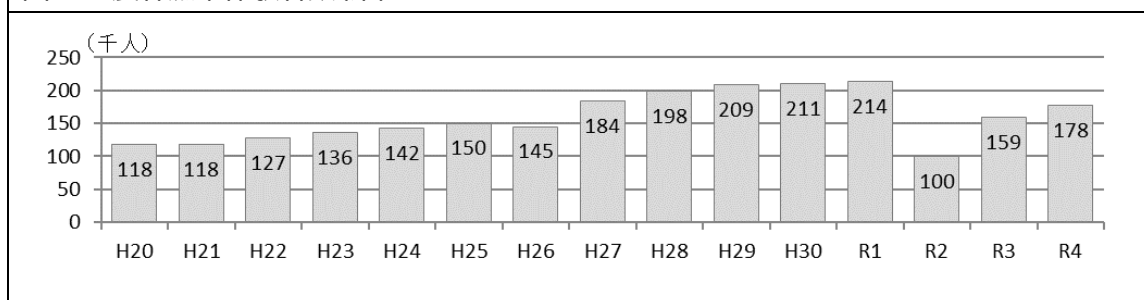


出典：岐阜県「県政モニター」

(3)食農教育の推進

農林漁業体験者数は、年々増加傾向にありましたが、令和2・3年は、新型コロナウイルス感染症の影響から、体験機会が減少しました。

図22 農林漁業体験者数(県)

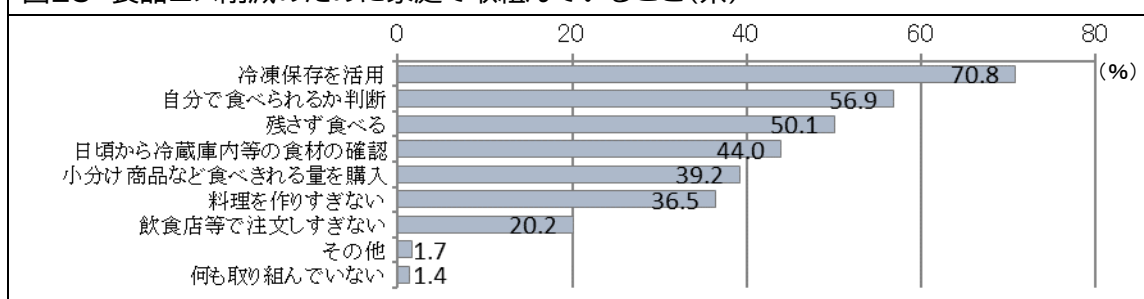


出典：岐阜県農村振興課「岐阜県農林漁業体験施設登録制度に基づく実態調査」

(4)食品ロスの削減

食品ロスの削減の取組みとして「冷凍保存を活用する」と回答した者が70.8%でした。

図23 食品ロス削減のために家庭で取組んでいること(県)



出典：岐阜県「令和2（2020）県政モニター」